

全国連盟通信

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402
TEL:03-3986-5401 FAX:03-3986-5403
Eメール:zenkoku@njsf.net ホームページ:http://www.njsf.net

発行責任者 石川正三

スポーツ連盟の三つの役割に 確信を持って前進しよう

第32回全国スポーツ祭典は1種目を残して成功裏に取り組みました。主管された東北ブロックのみなさんに心から感謝します。

連盟全体のスポーツ活動と組織化の状況を見ると、大変苦勞しながらクラブ、チームそして愛好者の要求に応える努力がされ、組織的には「微減」ですが、健闘の微減だと思います。いまは組織を維持すること自体が大変な状況と言えますが、あえてスポーツ活動の強化・発展と組織の拡大を訴えたいと思います。

そのために、各組織やブロックの会議、6月に行われる「プログレス(組織交流会)」で前進面と課題について交流し、激励し合う討論を期待します。そして、そうした活動の前提条件となるスポーツ連盟の今日的な三つの役割について述べたいと思います。

第一は、居心地の良いスポーツ活動の時間と場をつくり広げることです。すべてのスポーツクラブ、スポーツ組織が楽しく生き生きとした場となるようにするという事です。そこでは決して暴力はなく、セクハラやパワハラもなく個人の意志が尊重される場となるでしょう。

今日の日本社会は、安倍首相の言うことを聞く人々にとっては世界一居心地が良い社会ですが、99%の国民にとっては、居心地が悪いのです。新日本スポーツ連盟は、スポーツ活動を通じて、居心地の良い社会を実現することに貢献する大切な役割を持っています。こうした役割に確信を持ち、共にが

んばっていきたいと思います。

第二は、ウソ、ごまかしのない社会、フェアプレイを社会においても実現することです。政治と社会の現実、真実や誠実さなどが無いがしろにされる状況が広がっています。しかし、平昌での小平奈緒選手のイ・サンファン選手へのいたわりと激励の振る舞いに日韓両国の国民がともに人間的な連帯を共有しました。不祥事が多発するスポーツ界にあっても、まだフェアプレイは生きていることを示しました。スポーツを通じて、公平、平等、そして他者へのリスペクトを実現するためにさらに努力したいと思います。

第三に「スポーツは平和とともに」の私たちのスローガンに確信を持って活動することです。ご承知のように、朝鮮半島では、軍事境界線から100kmの場所にある平昌で冬季五輪が平和の祭典として成功しました。南北の共同行進の実現など、文字通り平和の祭典を世界に示しました。それがその後の南北会談、米朝会談実現へとつながり、オリンピック休戦、エケケイリアの精神が生かされました。「スポーツは平和とともに」から「オリンピックは平和とともに」へと大きく発展しつつあります。

こうした、スポーツ連盟の目的と使命が、今日のスポーツ界と社会の大局的な動向に応えるものとなっていることに確信を持ち、困難とも向き合い、明るく勇気を持って活動することを心からよびかけます。(新日本スポーツ連盟会長 和食昭夫)

“選手の輝き”が中心となるスポーツ活動を

第1回評議員会報告

2019年2月9日、10日に第1回評議員会が開催されました。冒頭、和食会長は「スポーツ連盟全体を見ると会員が少し減っているがよく実態を見る必要がある。今、活動を維持するだけでも大変な時。施設は減り、使いづらくなっている。暮らしの条件も悪くなっている中で“維持”はがんばっているということ。今後も居心地の良い、スポーツを楽しむ場をつくるのが重要」と、スポーツ連盟の役割を指摘しました。

その後、石川理事長は、「あらためて“前進面”を共有し、“選手の輝き”が中心となるスポーツ活動を広げるために、『行事参加者の減少』『チーム・団体種目での組織的な減少』『組織運営をめぐる意見の違い』などの“課題”に向き合い、目標に取り組もう」と述べ、2019年の重点課題と方針を次のように提起しました。



2019年の重点課題と方針

「課題」に向き合い 目標の実現を

- ①多様なスポーツ活動の質を高め、量を増やす取り組みが不可欠。全組織が協力し合って、「種目懇談会」「プログレスを成功させ、前進面を組織拡大に結び付けよう。
- ②柔軟な「組織化」に向けて加入促進となるよう論議を進めよう。
- ③公共スポーツ施設の実態を把握し、会員のスポーツ要求の実現に寄与する「公共スポーツ施設情報センター」の取り組みを促進しよう。
- ④「コンセッション方式」は究極の民営化であり、自治体に対する実態に則した要請、懇談に取り組もう。
- ⑤オリ・パラ都民の会とともに、都有地払い下げ問題、東京オリ・パラ経費の公表・削減問題、JOC会長の不明朗な招致活動費用問題の徹底解明、2020福島～東京～広島～長崎反核平和マラソンの成功に取り組む促進を。
- ⑥ピョンチャン五輪で生まれた“平和”の流れを、東京オリ・パラ、北京へ、そしてパリへと持続されるための草の根の国際交流を広げよう。
- ⑦スポーツ界の“自律的改革”をめざす取り組みについて、幅広い協力・共同に向けた取り組みを促進

しよう。

⑧多様なスポーツ活動と一体に「スポーツのひろば」の普及・拡大となるよう知恵と力を結集しよう。

⑨「ユネスコ体育・スポーツ国際憲章制定40周年にあたり、憲章の意義と果たした役割に焦点をあて、スポーツ科学研究所と共同した取り組みをしよう。

総会後の日常活動や「第32回全国スポーツ祭典」の中で作り出された前進面を、どのように“前進の流れに”できるか、柔軟な取り組み・工夫が必要になっていることなど、今後の方針を具体化する論議がされ、これから1年間の活動方針、決算・監査報告、予算とともに決定されました。

また、今回は、初めての試みでもある「評議員会出席者の種目懇談会」が開催され、今後の活動に向けて、課題に向き合い、解決策の論議を目的に、種目間の意見交換も行われました。

活動報告からは、「種目ごとの増減」「各県での違い」が報告に現れています。こうした点を良く検討し、取り組みに反映することが重要になっています。各局の活動方針は以下の通りです。



スポーツ活動・組織局

愛好者の要求を 分析しよう

卓球では、新たに群馬、熊本、長崎、岐阜に県協議会ができ、全国で半数以上の都道府県に組織が確立されたという重要な前進がありました。ソフトボールでは、来年度から高知県で8チームが新加盟してスタート。千葉県ではミックスバレーボール協議会が結成されました。テニスでは、全国祭典の運営役員が宮城県連盟に加入し、次年度の大会計画を作成につながりました。岡山でのテニス協設立準備が進行し、北海道テニス協の再結成への動きなどが出ています。

こうした前進面に自信を持ち、それぞれの組織が愛好者の要求を良く分析して、現在の活動がその要求にあっているのか論議し、実践することために英知を結集しましょう。

この評議員会での「出席者の種目懇談会」も含めて、引き続き「種目懇談会」を行って、組織化にむけ

ていきます。

各ブロック会議で、空白県での連盟組織の立ち上げに関わる「問題」「課題」を整理して、相互に前進できる支援に取り組みます。また、次世代を担う人材発掘を進め、若手や女性の交流の機会を多く作り、日常のつながりができるようにします。



スポーツ権・平和運動局 2020平和マラソン にむけて

スポーツ基本法を活かした各地の取り組み(自治体要請・懇談会)を集約し、課題が明確になるよう取り組みます。関東では、2020東京オリ・パラの関連した「利用制限」の拡大があり、早めの対策が必要です。

各地の反核・平和マラソンの成功とともに、2019年の「反核・平和のつどいin広島」の成功に向けて取り組みます。また、2020年の「被爆75年福島～東京～広島～長崎1800km反核・平和マラソン」の取り組みを、ブロックと共同した取り組みとなるよう、促進します。



国際活動局 各組織の国際交流を サポート

今年取り組まれる全国スキー協(創立50周年ウィーク、2～3月)と、神奈川県連盟(川崎月例マラソン・横浜駅伝、4～5月)によるフランスFSGT・韓国体育市民連帯の招待については、それぞれの組織への必要なサポートをしていきます。

韓国体育市民連帯が発行している「金曜ブリーフィング」が、関係者の努力で翻訳されています(6頁参照)。今後、新たな交流行事の実施となるようにFSGTと協議をしたり、世界にアンテナを広げて情報収集をしていきます。



広報局 ネット参加申し込み システムの運用へ

機関誌「スポーツのひろば」は減誌の傾向が続いていますが、各地の現勢と読者層との比較を行い、手薄なところに重点を置くなど、普及運動の促進す

る取り組みを検討中です。また今後、全国大会レポートが多く掲載される号は「カラー頁増加号」として発行します。

各大会の運営効率化のために「インターネットからの参加申し込みシステム」をテスト中ですが、今後、具体的な運用方法を検討します。



総務局 2020総会で表彰する 顕彰制度を検討

30年以上スポーツ連盟に加盟しているクラブ、永年にわたり連盟に貢献した個人を表彰する「顕彰制度」の内容を検討中です(2020年の全国総会で表彰する予定)。

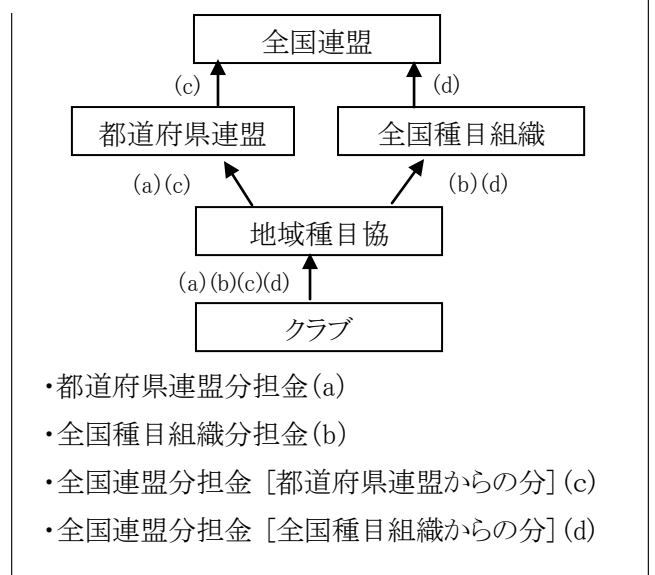


分担金・組織検討委員会 新しい納入方法や 柔軟な制度を提案

分担金制度については、検討委員会で歴史的経過をふまえながら検討され、理事会で議論を重ねてきました。主な課題は、

- ①分担金の流れが複雑でわかりづらい
- ②都道府県連盟または全国種目組織いずれかに分担金を納入しない組織がある
- ③分担金が負担となって、新規加盟の促進を妨げている可能性がある、などがあります。

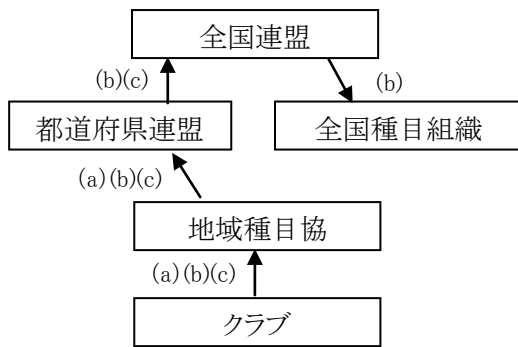
▼現在の分担金制度



こうした課題に対する対策として、新しい納入方法や柔軟な制度の案がいくつか提案されました。そ

の一つは、会費の納入方法を一本化する(分担金はすべて都道府県連盟を通して集める)案です。

▼分担金一本化の案



1) 都道府県連盟は

- ・都道府県連盟分担金(a)
- ・全国種目組織分担金(b)
- ・全国連盟分担金(c)

を集め、(b)(c)を全国連盟に支払う

2) 全国連盟は(c)を全国種目組織に支払う

※金額は従来と変わらない

※都道府県連盟がない地域は、種目協が全国連盟に直接支払う

二つ目は、全国連盟分担金を統一するという案。全国連盟への分担金は、都道府県連盟から30円、全国種目組織から10円(1人・ひと月あたり)となっていますが、都道府県連盟や全国種目組織加盟・非加盟関係なく、一律にしたらどうかというものです。

三つ目は、都道府県連盟のない地域の組織から「県連盟設立準備積立金」を集めるという案。将来的に、都道府県連盟を設立するための準備金として、現存する種目協から積立金を集めるという内容です。

以上の提案について、評議員会では次のような意見が出され、今後継続して検討していきます。

「種目組織と県連盟の関係は、スポーツ連盟の役割と活動内容に関係しているので、一本化する事とは別問題」

「都道府県連盟の存在意義が問われている。種目組織に加盟するだけでいいとなっている。団体種目は上げて、個人種目はそのまま、加盟を増やした方が良い」

「加盟へのステップとなるような賛助会員制度をつくってはどうか」

「よこはま月例マラソンの参加者から約600人をスポーツ連盟会員とみなして加盟することとした。財政事情を考えて、分担金を支払える数にしたとい

うこと」

「神奈川の月例マラソンは良心的。行事の参加者は多いが会員ではないから、都道府県連盟にも全国連盟にも分担金が入らないケースがある」



バレーボールの組織運営に関わる問題について

バレーボールに関わる組織間での数年にわたる運営上のトラブルが原因となり、徳島県バレーボール協議会と埼玉県バレーボール協議会が、全国ミックスバレーボールセンターに「脱退届」を提出するという事態を招いた件について、第3回理事会(昨年12月)で議論され、当事者間の協議の推進にあたって全国連盟が必要な調整と援助を行うとともに、その問題に深い関わりがある全国連盟三役の間でも深刻な意見の不一致があることを解消する取り組みが求められていました。

今年1月、「三役による調整会議」を開催し、それぞれ具体的項目での意見の違いを解消し、合意した内容で今後進めていくことが確認されました。また、1月17日に開催された「全国ミックスバレーボールセンター第4回臨時理事会」では、全国ミックスバレーボールセンターの萩原理事長からの「見解」が出され、この見解の項目ごとに論議、意見交換がなされました。その結果、脱退届については「ともにバレーボールの発展のために取り組んできており、戻ってほしい」という意向を確認。また、萩原理事長からは、「今回の事態を招いた責任があり、事態を発展的に克服するために辞任をする」との表明がありました。

その後、2月21日に全国ミックスバレーボールセンター定期理事会が開催され、脱退届の扱いについては「保留とし、話し合いを行う」ことが決定しました。萩原理事長の「辞任表明」については、最終的には採決が行われ、辞任を了承する決定となりました。こうした結果を受けて、今後の運営体制については「理事長は次の総会まで空席」とし、大平副理事長と小林理事が代行し、埼玉、徳島両バレーボール協議会との話し合いを進めていくこととなりました。

プログレス ～組織発展・世代継承推進のための交流会～

スポーツの魅力を語り、組織を大きくしていく上で、楽しく人との輪が広がっていくようなことのヒント、手がかりをつかむために「プログレス（組織発展・世代継承推進のための交流会）」を今年6月に開催します。

次世代を担う人材や今後活躍してもらいたい人の発掘や育成、新しい協力者・スタッフ同士が顔見知りとなることを目的とした交流会です。これを機に、世代継承をすすめ、組織が発展するようにできればと思います。

ぜひ、新しい組織での役員や、次世代を担っていく人などの積極的な参加をお願いします（開催要項は下記の通り）。



プログレス（組織交流会）要綱案

- 目標**
- これから組織を担う人たちを中心とした組織間交流により、他組織から学び、活動するうえでの課題、問題点を見つけ、これからの組織活動をする上での指針やお互いの励みになるような討論を行い、交流の輪を広げる。
 - 参加者全員がスポーツの魅力を確認し合い、組織の発展や世代継承に向けた意思統一、意識づけを行う。

日にち 6月22日（土）受付10時10分～

会場 北とぴあ第二研修室 東京都北区 JR・東京メトロ王子駅より徒歩2分

参加対象 次世代を担っていく人、今後組織での活躍を期待したい人。女性の参加も積極的に呼び掛ける。50人～60人規模で開催。理事や評議員が参加する場合は、新しい人を連れての参加を希望。

スケジュール

- 10時30分 開会 交流会開催にあたって（基調報告的位置づけ）10分程度
- 10時40分～12時 <講演> スポーツの魅力を語る 講師未定
<休憩>
- 12時50分～ グループディスカッション（6人～7人程度に班分けを実施）
- 13時～13時15分 オリエンテーション（自己紹介・班が打ち解けるためのゲーム）
- 13時20分～14時45分 ディスカッション
テーマ「組織の発展と世代継承のために」「楽しくスポーツ連盟で活動するには」
新しい人テーマ「組織の改善点、疑問点は？」
ベテランテーマ「私が20年若かったらやりたいこと」
- 14時50分～15時50分 各班報告
- 16時～16時40分 質疑応答、全体討論
- 16時40分～ まとめ
- 16時55分 閉会 ※17時30分～ 懇親会

※参加者の交通費は
全国連盟が負担します。

皆さんは、新日本スポーツ連盟の国際局員が韓国スポーツ事情を翻訳し、定期的にメール配信していることをご存知でしょうか？ それは、私たちと友好関係にある韓国体育市民連帯が発行している「金曜ブリーフィング（簡単に短く伝える説明・報告）」というものです。スポーツと人権に関わるコラムの他、毎号3つ程度のニュースが掲載されています。

体育市民連帯は、研究者や体育指導者などが主軸

となって結成した韓国初の体育市民団体です。市民の自発的参加によって、スポーツ分野の（パワハラ・セクハラなどの）暴力の根絶、不正行為の告発と根絶をめざしています。ぜひ「金曜ブリーフィング」を読んでいただき、スポーツを見る視野を広げるための一助としてもらえたら幸いです。

「金曜ブリーフィング」のメール無料配信を希望する方は、zenkoku@njsf.net まで。

韓国体育市民連帯「金曜ブリーフィング」161号（2019.2.8）より抜粋

今すぐ選手の尊厳と人権を保護すべき

鄭ウオンス
（スポーツ評論家・聖公会大教授）

ユ・スンミン国際オリンピック委員会（IOC）選手委員様、お元気ですか。1年余り前のスポーツ専門放送で、委員はIOC選手委員の任務を強調した事があります。

「オリンピック憲章」を遵守することと選手の権益の伸張と保護でしたね。事実、この二つはお互いにかみ合っています。「オリンピック憲章」は、まるで憲法のように加盟国のすべての役員、指導者、選手が一切の妥協や譲歩をせずに必ず守らなければならない根本理念ですね。

その冒頭に「オリンピック理念の基本原則」が明らかにされています。1項を見るとオリンピック理念は「人間の身体、意志、精神を全体のバランスと調和の中で高揚」させることです。身体だけでなく、意志も精神も調和を成さなければなりません。選手たちが「運動マシン」ではなく全人的な成長をしなければならないことを強調しています。

次の2項、オリンピック理念の目標は「人間の尊厳保持を追求する平和な社会の建設を図る」ことです。また、6項には、「あらゆる種類の差別なく享受することができるように保障」すべきであると明記されています。

委員はこのような価値を知らないはずはないのですが、最近展開されている韓国スポーツの巨大な転換の中で、ややもすると、このオリンピック精神が悪用されたり、ごく一部の表現を脈絡なく乱用されたりする場合がありますので、一緒に考えてみようと思います。

趙ジェボム元コーチ加害事件が表面化した後に、スポーツ界はまさに風の前のキャンドルのように揺れています。上意下達式の位階秩序と有形無形のすべての暴力の文化を根絶しなければならないという声が国民的熱望に広がっています。選手たちが叩かれ、深刻な人権蹂躪の状態にまで追い込まれ、そのようにして獲得した金メダルが何の意味があるのかという、訴えも聞こえてきています。

政府は暴力の実態を厳重に調査する一方、国威宣揚と成績至上主義から抜け出すための各種の改革課題を展開

すると明らかにしました。これについてスポーツの現場では、一方で共感しながらも懸念している雰囲気です。

そんな時にユ・スンミン委員も意見を表明しましたね。「体育行政家としての責任を痛感する。改革が必要だが、合宿・年金制度を廃止するのは能がない。オリンピックを目標に汗を流した選手たちの夢が消えるだろう」と明らかにしました。

選手たちの意見を聞いて十分な議論を経て改善案を探そうという提案もしていました。五輪金メダリストであり、選手委員として十分提示するに値する意見だと思えます。当惑に陥った後輩選手たちを保護しようとする心も感じました。

しかし委員は単なる体育行政家や競技力強化委員ではなく、「オリンピック憲章を遵守し、選手たちの権益を保護」する選手委員です。選手たちが暴力の無限再生産構造に無防備状態で置かれています。何人かの指導者のことだと片付けたなら、それは事態の深刻さから目を背けることです。

選手委員なら今すぐ暴力を停止するように訴えなければならぬし、恐怖の状況に置かれている選手たちを保護するために即座の行動に出なければならないでしょう？ 悪を根絶し選手を保護することこそ「人間の尊厳」を最高の価値と明らかにしているオリンピック精神でなくて何でしょうか。

もちろんオリンピック憲章に示されたように、「選手たちの社会的、職業的将来の保障」もユ委員の役割です。しかし、少数のメダリストだけが社会的に認められ将来が保障される現行の制度は改善すべきではないでしょうか？

我が国のスポーツ改革と発展は、ユ委員の活動根拠となる高潔な「オリンピック精神」の実践にあり、すぐに選手を保護しなければなりません。その「権益」ではなく、その「尊厳と人権」を！

2019年度全国競技大会 開催一覧

軟式野球	11月9～10日	岡山県	笠岡市・かさおか古代の丘スポーツ公園野球場他
バレーボール	11月9～10日	愛知県	名古屋市稲永スポーツセンター、守山スポーツセンター他
卓球	一般の部 12月14～15日 年代別の部 2020年2月22～23日	広島県	広島県立総合体育館
テニス	11月23～24日	三重県	三重サオリーナ
サッカー Final Cup	10月27日	愛知県	名古屋市東山公園テニスセンター
	シニア大会 11月16～17日	神奈川県	秋葉台運動公園
バドミントン 団体戦	8月10日	大阪府	J-GREEN堺
	個人戦 未定	愛知県	名古屋市稲永スポーツセンター
ソフトボール 東日本	9月28日～29日	茨城県	古河市 上大野グラウンド
	西日本 11月2～3日	徳島県	徳島市 吉野川北岸運動広場
ウォーキング	5月25～26日	岐阜県	「全国交流ウォーク」馬籠宿から妻籠宿を歩く
ミックスバレーボール	12月7～8日	愛知県	一宮市総合体育館
スキー	2020年3月予定		

第9回研究会シンポジウム

東京の都市再開発と スポーツ環境整備

—2020東京オリパラに向けて—

期日

2019.3.23(土)

13:00～17:00(受付:12:30～)

会場

としま南池袋
ミーティングルーム 第3会議室

JR池袋駅(東口)より徒歩8分

お問い合わせ

science@njsf.net

主催:新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所

共催:2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会

東京オリパラ開催を起爆剤として進められている東京臨海部の再開発で、経済界の要望を受けて安倍政府と東京都はどのような計画を構想しているのか。大企業利潤を重視した都市再開発に対して、住民運動はどのような批判や対案を提起しているのか。

シンポジスト

岩見良太郎氏(埼玉大学名誉教授)

「東京臨海部の再開発によって東京をどのような都市に再生しようとしているのか」

「大企業利潤を重視した都市再開発に対して住民運動はどのような批判や対案を提起しているのか」

萩原純一氏(東京都連盟理事長)

「2020東京オリパラのための大型スポーツ施設建設の行方」
「東京の公共スポーツ施設の今とこれから」

第33期全国会議及び主要事業予定一覧 (2019年3月～2020年3月)

全国会議・事業		都道府県連盟・全国種目組織
3月	1～10日	全国スキー協50周年記念ウィーク
	2～3日	全国スポーツ祭典スキー競技大会(新潟)
	3日	全国サッカー協総会、全国野球協総会
	9～10日	全国テニス協総会
	10日	全国バドミントン協総会
	16日	東京都連盟総会
	17日	千葉県連盟総会、全国水泳協議会総会
	21日	京都府連盟総会、滋賀県連盟種目交流会
	23日	第9回研究会シンポジウム
	29～31日	全国スポーツ祭典卓球大会年代別の部(岡山)
4月	1日	「スポーツのひろば」5月号発行
	6日	岩手県連盟総会
	13日	33期第5回理事会
	26日	「スポーツのひろば」6月号発行
	27日	福岡県連盟総会
5月	5日	月例湘南マラソン500回記念レセプション
	6日	和歌山県連盟総会
	18～19日	全国選抜軟式野球大会(静岡)
	25～26日	全国交流ウォーク(岐阜) 馬籠宿から妻籠宿を歩く
6月	8日	神奈川県連盟総会
	9日	平和マラソン(愛知)
	10日	「スポーツのひろば」7-8月号発行
	15日	平和マラソン(富山)
	16日	三重県連盟総会
	23日	愛知県連盟クラブ代表者会議、兵庫県連盟種目代表者会議
7月	7日	平和マラソン(三重・大阪)
	13日	平和マラソン(東京)
	14日	大阪府連盟総会
	21日	平和マラソン(千葉)
8月	1日	「スポーツのひろば」9月号発行
	4日	平和マラソン(愛知)
	4～6日	反核平和スポーツのつどいin広島
	6～8日	平和マラソン(広島～長崎)
	10日	全国バドミントン大会団体戦(愛知)
	24～25日	33期第6回理事会
	25日	平和マラソン(宮城)
9月	2日	「スポーツのひろば」10月号発行
	8日	平和マラソン(北海道)
	28～29日	東日本ソフトボール大会(茨城)
10月	27日	サッカー Final Cup(神奈川)
11月	2～3日	西日本ソフトボール大会(徳島)
	9～10日	全国軟式野球大会(岡山)、全国6人制男女バレーボール大会(愛知)
	16～17日	全国シニアサッカー大会(大阪)
	23～24日	全国テニス大会(愛知)
12月	8日	平和マラソン(愛知)
	7～8日	33期第7回理事会
	14～15日	全国卓球選手権大会 一般の部(広島)
2020年		
2月	8～9日	33期第2回評議員会・第8回理事会
	22～23日	全国卓球選手権大会 年代別の部(三重)
3月	14～15日	第34回定期全国総会

*追加・訂正があれば全国事務局まで随時ご連絡ください。